



編集 SEF 事務局
 連絡先 03-3669-0499
 URL http://sef-jpn.org

巻頭のことば「自国優先主義」 **理事 重富 紀**

トランプ新米大統領の言動が連日新聞紙面を賑わす。TPP 離脱・NAFTA 再交渉・メキシコ国境に壁・移民や難民の受け入れ制限等々。国連をはじめとして国際条約(多国間条約)への関与縮小・撤退も検討するとしている。無軌道な言動は国内外に摩擦を起し敵意と不寛容を拡散させる。トランプ大統領は国内製造業の雇用の減少を自由貿易のせいにして保護主義に走る。保護主義のもとで米国が繁栄を取り戻すとする幻想のもとに。世界の民主主義・自由貿易をリードしてきた米国・英国は相次いで自国優先にかじを切る。戦後 70 年、大戦の教訓をもとに、営々として築いてきた国際協調・自由貿易の精神は、いま大きく“自国優先主義”に揺らいでいる。目先の利害にとらわれた反グローバル思考は世界経済の持続的発展と世界の平和を阻害する。1) グローバル化・2) 国家主権・3) 民主主義の 3 つは同時には達成できず、どれか 2 つを取れば、のこりの 1 つは達成できないという。1) と 2) を取ったのが中国、1) と 3) を取ったのが EU、2) と 3) を取って 1) を捨てようとしているのがトランプ大統領の米国ということになる。3 つとも達成できる方策はないものか? 最善の方法は? 人々の英知が試されている。

1 月度(第 161 回)理事会報告(1 月 18 日)

《第 161 回理事会》	
1. 京葉プラント社向け IoT 講演業務取進めの件 →可決承認	5. 業務支援事業部 3Q 活動報告 →報告了承
2. H29 年度理事検討会の件 →可決承認	6. H29 年度年間スケジュールの件 →報告了承
3. H29 年 2 月会員交流会開催の件 →可決承認	7. H28 年度源泉徴収法定調書提出の件→報告了承
4. 会員種別変更の件 →報告了承	8. H28/12 会計報告の件 →報告了承
	9. SEF 運営と法規・規定について(継続勉強会)

事業報告 業務支援事業部(GS部)G2 **担当理事 波多野正幸**

2017年2月となり、期末見通しの作成段階です。今期の業務支援事業部門グループ2の実績は、期中の新案件の受注があり、予算を達成する見通しです。継続的な案件と会員のネットワークにより、新しい業務支援案件に対応できた事が要因と思います。単発的な業務支援活動だけでなく、より継続的な業務支援業務を開拓する事が重要なので、SEFの活動を理解する事業会社との信頼関係を構築し、継続的な事業支援関係にする事が大切です。今期予算で計画した新分野の開拓案件の「教育事業」、「地方会社の事業支援」での成果は十分ではなく、足掛かりを掴んだ段階です。SEF会員の技術、知見を活かした「教育・講演事業」の具体的な開拓活動は来季の課題です。業務支援活動の活発化は、SEF会員の関心の高いテーマであるため、更に幅広い活動が必要です。事業支援活動が活発にできれば、SEFの活動予算の確保と活発な活動が出来るので、新しい情報ソースの開拓により、SEF会員の技術、知見が生かせる様な「業務支援案件」の開拓を進めたいと思います。

SEF サロン 第 97 回報告・98 回案内 **担当理事 白崎善宏**

《 第 97 回報告 》1 月 18 日実施
 講師:猪間 明俊氏 工学博士 元石油資源開発(株)取締役
 演題:「東シナ海石油開発問題のその後と「中国の脅威」」

2005 年 12 月に同じ演題で講演いただいてから、11 年経過した東シナ海での石油・ガスの開発の現況についてお話がありました。中国側はこの海域での開発を続け日本側が抗議する状況はあっても、合意した共同開発は遅々として進まず、むしろ抗議も沈静化しています。抗議の世論が沸き立つことが合っても、日本側にとっては採算的に合う事業でないことが実態とのことです。今、南シナ海域で中国の人工島に話題が集中していますが、以前から南沙諸島には台湾、マレーシア、フィリピンも空港を建設済みとのご指摘がありました。いいずれも、報道からの情報とかなり違う側面からのお話で、聴衆の方からも質問も多く、有意義な講演会でした。

《 第 98 回案内 》
 日時:2017 年 3 月 22 日(水) 18 時 場所:青学会館内アイビーホール 1F「フェリア」
 演題:未定 (モンゴル紹介とホームー演奏)
 講師:U. ウルジ氏 モンゴル国商工会議所・日本 会頭

1 月度会員動向

会員入退会 松井武氏(正→準) H29/1	2 月 1 日 会員数 正会員-29 名、準会員-29 名、賛助会員-2 社
--------------------------	---